

# 遠賀

No.148 2017.11.10

発行 / 福岡県おんがちょう遠賀町議会

## 議会だより



### 9月定例会

#### 平成28年度決算

依然として厳しい財政状況 . . . 2

決算特別委員会審査報告 . . . 4

臨時会・議員研修など . . . 6

一般質問 . . . 7

傍聴者から一言・全国交流レガッタ . . . 12

赤ちゃん、待ってるよ

9月10日、遠賀町中央公民館でプレパママ教室が開催されました。

当日は7組の参加者があり、管理栄養士や保健師による「妊娠中の健康」「沐浴実習」「アロママッサージ」の指導が行われていました。

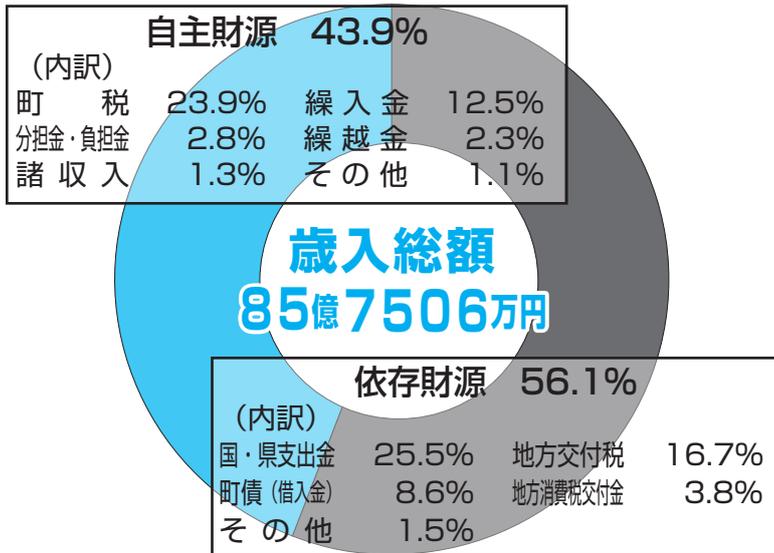
沐浴実習では、ぎこちない手つきながらも真剣なプレパパにプレママもニッコリ。

9月定例会は、9月4日から20日まで17日間開催されました。

議案は、平成28年度一般会計と9特別会計の決算、条例の改正、平成29年度一般会計と特別会計の補正予算など、22件が上程され、慎重審議を行いました。

# 財政状況

## 一般会計 歳入 (万円未満四捨五入)



## 町税の税目別収入状況 (万円未満四捨五入)

平成28年度 20億4858万円



## 監査委員指摘事項

本年度の普通会計の決算状況をみると、実質単年度収支は146,886千円の赤字であり、実質収支比率は3.7%となっている。経常収支比率は95.4%と前年度比5.7ポイント増加、実質公債比率は6.5%と前年度比0.3ポイント低下している。決算額は歳入が前年度比21.5%増、歳出21.3%増となっており、決算規模は拡大している。依然として厳しい財政状況の中、第5次遠賀町総合計画後期基本計画に沿ったまちづくりを推進するうえで、今後拡大することが見込まれる社会保障にかかる経費や公共施設の維持管理費、遠賀川駅南の整備事業などの財政需要に対応するため、また災害時の臨時的対応に備えるためにも、行政コストの分析や資産と債務の適正な管理を行うことにより、より健全で効率的な行財政運営に努めていただきたい。

## 平成28年度 各会計歳入歳出決算一覧

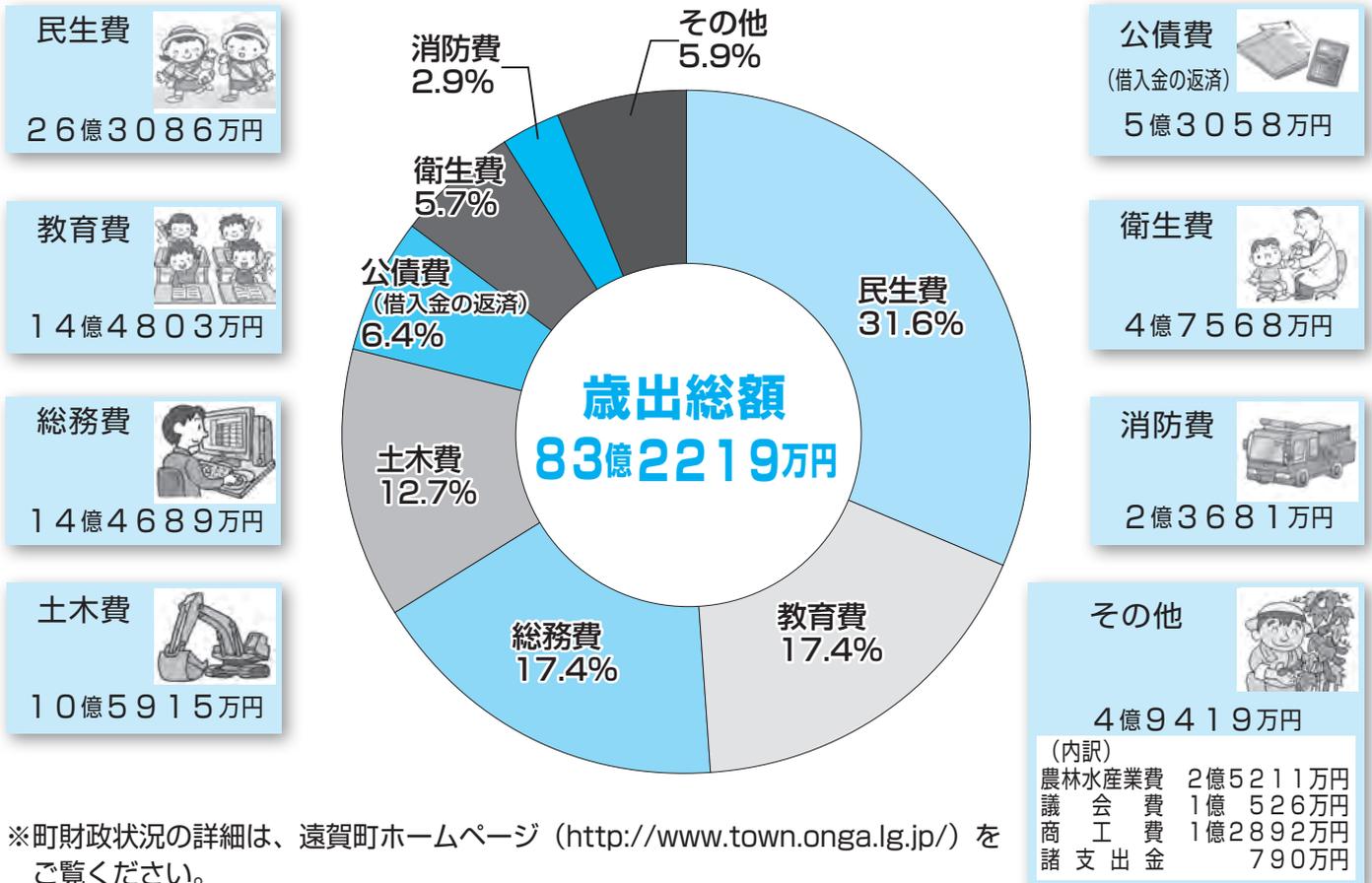
(万円未満四捨五入)

会計名	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	85億7506万円	83億2219万円	2億5287万円	
特別会計	国民健康保険事業	27億2389万円	26億6084万円	6305万円
	住宅新築資金等貸付事業	994万円	970万円	24万円
	遠賀霊園事業	7595万円	6640万円	955万円
	学校給食事業	9億5555万円	9億5545万円	10万円
	地域下水道事業	6550万円	6183万円	367万円
	農業集落排水事業	9540万円	9310万円	230万円
	公共下水道事業	6億4716万円	6億3783万円	933万円
	土地取得	13億622万円	13億436万円	186万円
	後期高齢者医療	3億1903万円	3億1488万円	415万円

# 依然として厳しい

## 一般会計 歳出

(万円未満四捨五入)



## 平成28年度 決算認定

(一般会計・国民健康保険事業特別会計・後期高齢者医療特別会計 賛成多数認定)  
(その他すべて 全員一致認定)

### 総務費・土木費の増額で、決算規模が大幅な拡大

平成28年度一般会計の決算内容は、歳出総額83億2219万円となり、前年度に比べると9億9501万円と13.6%の大幅な増額になっています。

増加した主なものは総務費と土木費で、総務費は退職者の人数増に伴う退職手当および別府広場整備事業に係る公有財産購入費の増、土木費は老良・上別府線改良事業等に係る工事請負費および虫生津排水機施設更新に係る負担金の増によるものです。

また、町の主な財源は、町税などの自主財源と国・県からの支出金や地方交付税などの依存財源に分けられますが、自主財源比率は43.9%と前年度比3.3ポイントの増です。

特別会計では、国民健康保険事業の歳出が26億6084万円と前年度比で6169万円の減額です。

減額した主なものは、被保険者数の減少に伴う保険給付費です。

# 平成28年度 決算特別委員会 審査報告

9月11日～13日

平成28年度一般会計と9特別会計の歳入歳出決算について、各担当課から主要施策の事業実績を中心に概要聴取を行い、予算がどのように事務事業に反映されたかを審査しました。

## 委員長報告

歳入のポイントとして、「収入確保の努力が十分になされているか」に着目し、具体的には「町税の徴収が効果的になされているか」「補助金を予算どおり確保できているか」「その他収入確保の努力が十分であったか」などを審査しました。

歳入のポイントとして、「議決された予算が適正かつ効果的に執行され、また、どのように事業効果が上がったか」に着目し、具体的には「支出が適法適正になされているか」「不用額は妥当である



右から  
委員長 萩尾 修身  
萩本 悦子  
委員 織田 隆徳  
副委員長 仲摩 靖浩  
委員 尾下 康文  
濱岡 峯達

### 決算特別委員会 「私たちが審査しました」

か「予算の流用や予備費の充当は適正か」「補助金の効果が上がっているか」などを審査しました。

その結果、下記のような指摘をして、全議案を認定しました。

## 来年までに検討を！ 9項目の指摘 決算特別委員会から 町執行部へ

次の指摘事項は、町執行部で検討され、平成30年3月定例会で報告されます。

**指摘4** 保育所は保育士の確保と保育室の面積要件をクリアすれば定数の120%まで受け入れが可能だ。待機児童解消のため、定数を超えての入所受け入れを活用すべきだ。



昭和61年に建設された漕艇場

**指摘5** 新学習指導要領への移行期間として、平成30年度から英語の授業が教科化するため、ALT(外国語指導助手)を増員すべきだ。

### 指摘8

霊園事業特別会計において、墓地の返還が増加している。高齢化も一因であり、管理を代行する永代供養墓など、共同の墓を検討すべきだ。

**指摘6** 体育協会が主催している体育大会参加者が大きく減少しており、原因の究明と対策を検討すべきだ。

### 指摘9

学校給食事業特別会計において、悪質な給食費滞納者に対しては、公平の原則から法的措置を積極的に取るべきだ。

**指摘1** 地域防災計画の見直しに合わせ、職員の非常食の確保や高齢者用の備蓄品など要望に沿った種類の備蓄をすべきだ。

**指摘7** 漕艇場は老朽化し、維持費の増大が予測される。他自治体の漕艇場は県が運営しているところが多く、県に運営を移行すべきだ。

**指摘3** 生ごみ処理機の小規模事業者への普及促進をすべきだ。

## こんな質疑もありました

**Q** 駅南駐車場の利用状況を尋ねる。また、駅南駐車場は維持しなければならないのか。

**A** 8月末までで1日平均16台程度だ。駅北側の混雑解消が当初の目的だ。駅南開発関連で人々を呼び込むため、また、現在行われている国道3号今古賀交差点改良工事で旧3号線が混雑する状況があるので最低2年間はやっていく。

**Q** ふれあいの里の利用者が平成24年度から減少傾向にある。また、研修棟の利用者も平成28年度は1000人以上減っている。その理由は。

**A** 以前は正面玄関において、全ての利用者をカウントしていたが、平成27年9月から浴場利用者のみカウントする方

法に変えたため、浴場以外の施設利用者がカウントされなくなることが大きな要因だ。

研修棟については、よく利用されていたレガッタ関係の団体が、宗像市にできた低廉なビジネスホテルを利用されるようになったこと、また通学合宿の回数減も要因になっている。

補助となる。100%の補助はできないのか。継続事業については、経費の一部を負担していただきたい。現状としては補助率の変更は考えていない。

のような改善を行っているのか。

今年度は、子どもたちや保護者を対象に行うアンケートを参考にし、メニューの工夫等を行い、残食減少に努めたい。

文化ふれあい事業では、美術館が多い。音楽コンサート等の事業は考えられないのか。また、本町で開催するという方向性もあるのではないか。

文化ふれあい事業の入場料は、本人負担となっている。音楽コンサート等になれば、事前予約が必要となり、現状では無理と考える。ただ今後、町民に音楽コンサート等の機会をどのように提供するかを検討していく。



ふれあいの里研修棟

Q がんばる地域まちづくり事業で新規事業に対しては100%、限度額35万円の補助があるが、継続事業の場合90%



乗客が減少しているコミバス

Q 給食の残食率は、年々増加している。ど

【主なもの】  
寄付金 150万円  
九州北部豪雨災害義援金として、添田町に50万円、東峰村に100万円を寄付するもの。

消防施設費 184万円  
老良公民館横、防火水槽の老朽化により、防火水槽を埋め戻し、新たに消火栓を設置するもの。

耐震改修促進事業補助金 180万円  
住宅の耐震補強の推進と地震対策意識の啓発を図り、災害に強いまちづくりの実現に資することを目的に、町内の木造戸建て住宅3戸分に対して耐震改修工事に要する経費の一部を補助するもの。

児童保育運営委託料および警備委託料 60万円  
新設された第3北学童の利用が2か月早まったため、運営委託料と警備委託料を増額するもの。

【人事案件】  
人権擁護委員 (全員一致適任)  
任期満了に伴い、再度推薦するもの。  
筋田 初子 さん (上別府)

●任期  
平成30年1月1日から平成32年12月31日まで

●任期  
平成29年10月6日から平成33年10月5日まで

平成29年度  
一般会計補正予算  
3564万円増額  
(万円未満四捨五入)  
(全員一致可決)

第2回目の補正予算は、3564万円を増額し、予算規模は68億4950万円になりました。

経営安定・発展のための取り組みに対し、認定農業者や農業生産法人に、経費の2分の1を交付するもの。

小学校施設整備事業委託料 544万円  
浅木小学校トイレ改修のため、実施設計業務を委託するもの。

教育委員会委員 (全員一致同意)  
任期満了に伴い、再度選任するもの。  
三原 幸子 さん (鬼津)

●任期  
平成29年10月6日から平成33年10月5日まで

●任期  
平成29年10月6日から平成33年10月5日まで

人事案件

児童保育運営委託料および警備委託料 60万円  
新設された第3北学童の利用が2か月早まったため、運営委託料と警備委託料を増額するもの。

経営安定・発展のための取り組みに対し、認定農業者や農業生産法人に、経費の2分の1を交付するもの。

小学校施設整備事業委託料 544万円  
浅木小学校トイレ改修のため、実施設計業務を委託するもの。

耐震改修促進事業補助金 180万円  
住宅の耐震補強の推進と地震対策意識の啓発を図り、災害に強いまちづくりの実現に資することを目的に、町内の木造戸建て住宅3戸分に対して耐震改修工事に要する経費の一部を補助するもの。

消防施設費 184万円  
老良公民館横、防火水槽の老朽化により、防火水槽を埋め戻し、新たに消火栓を設置するもの。

寄付金 150万円  
九州北部豪雨災害義援金として、添田町に50万円、東峰村に100万円を寄付するもの。

文化ふれあい事業では、美術館が多い。音楽コンサート等の事業は考えられないのか。また、本町で開催するという方向性もあるのではないか。

契約  
(万円未満四捨五入)

老良・上別府線整備工事  
(その1) 請負契約の締結  
(全員一致可決)

老良・上別府線整備工事  
(その1) 請負契約を締結するもの。

▽入札の方法

条件付き一般競争入札

▽契約金額

1億1013万円

▽契約の相手方

株式会社山賀

遠賀営業所

▽工期

平成30年3月30日まで



工事が始まった老良・上別府線

賛否が分かれた議案 (○：賛成 ▲：反対 欠：欠席) ※ 全員一致の議案は除いています。

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
会議名	議案名	議員名	浜岡	中野	尾下	二村	萩尾	田代	濱田	仲摩	加藤	仲野	織田	萩本	古野
9月定例会	平成28年度遠賀町一般会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	欠	▲	○	○	○	○	○	○	
	平成28年度遠賀町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	欠	▲	○	○	○	○	○	○	
	平成28年度遠賀町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	欠	▲	○	○	○	○	○	○	
	「道路整備予算の確保」及び「道路整備事業の補助率等の嵩上げ措置の継続」に関する意見書案の提出について		○	○	○	○	欠	▲	○	○	○	○	○	○	(議長)



浅木小学校の天井吊り型エアコン

第一常任委員会

所管事務調査

9月4日、第一常任委員会の所管事務調査として、エアコン設置工事が終了した広渡小学校と浅木小学校の運用状況と、島門小学校のトイレ改修状況について視察しました。

今回のエアコン設置工事については、広渡小学校は防衛省、浅木小学校は文部科学省の補助事業で行われました。

広渡小学校は、航空機の騒音対策の見地から、窓を閉め切っても換気効率が良い天井カセット型一方、浅木小学校は維持

管理費が安価な天井吊り型のエアコンをそれぞれ設置しました。視察した二校では「快適に過ごせ、勉強に集中できるようになった」との児童の声も報告されています。

今年、島門小学校を除く小中学校にエアコンが設置されましたが、今後、島門小学校についても、エアコンの設置が予定されています。

また、島門小学校のトイレ改修工事については、担当職員から図面を基に説明を受けました。

今回は一定数の和式便器を残した上で、生活環境の変化に合わせてトイレを洋式化したとのこと

で「改修により、掃除しても取れなかった異臭がなくなった」「男女の入り口が別々になってよかった」など、児童や職員の感想も聞くことができました。

遠賀郡町議会議員研修会

10月4日、遠賀郡町議会議長会主催による町議会議員研修会が開催されました。

講演第一部は、「議会における個人情報保護について」第一法規(株)の鳴瀬正芳氏を講師に行われました。

「個人情報保護に関連した社会問題」ではSNS、逗子市ストーカー事件、ご自身が経験した自治会のアルバムに関すること等を、「個人情報保護の法制度の流れ」では国民が守るべきルール、行政機関が守るべきルールについて話されました。

また、マイナンバー制度は税、社会保障、災害対策に使用が限定されていること、特定個人情報報の利用と提供についても紹介されました。

第二部は「スロー・ジョギング健康法」と題し、福岡大学スポーツ科学部

教授田中宏暁氏が講演されました。

現代人の肥満の原因が過食と運動不足にあることを提起され「人類は走るように進化してきた」と「筋肉を使わないと体のあちこちにダメージを与え、体力低下・疾患へとつながること」等を説明されました。また「脳を鍛えるには運動しかない」ことが、小学3年生の持久力と算数の学力が

相関する研究結果から報告されました。

走ることは、気分をよくし、脳卒中・糖尿病・うつ病の治療と予防、肌が良好でシミが薄くなること等も紹介されました。

走ることは、気分をよくし、脳卒中・糖尿病・うつ病の治療と予防、肌が良好でシミが薄くなること等も紹介されました。



講師の田中教授

一般質問とは…

年4回行われる定例会で、議員が町に対して現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動の一つです。



はぎもと えつこ  
萩本 悦子

Q

## フッ化物洗口について、教育長の考えを尋ねる

A

子どもたちのむし歯予防に非常に効果があると捉えている



モデル事業のフッ化物洗口を行う  
広渡小学校の子どもたち

### フッ化物洗口事業

**議員** 県は6つの教育事務所管内で一校を指定し、フッ化物洗口事業を導入することになった。北九州教育事務所管内では、広渡小学校が指定されたが、フッ化物洗口事業の概要を尋ねる。

**教育長** 年度当初に県より、佐賀県などで実施しているフッ化物洗口事業は、むし歯予防に非常に効果が上がっている事業であり、福岡県でも取り組んでいきたいということで、協力依頼があった。

学校教育課としては、県に対して、子どもたちの健康面に十分注意をしてもらうこと、実施に当たっては、保護者の同意を原則とし、強制しないこと。また、うがい液については、歯科医師会や薬剤師会が責任を持って用意することを条件として、広渡小学校に決定し

た。

**議員** フッ化物洗口事業については、賛否両論があるが、教育長の考えを尋ねる。

**教育長** 学校での健康診断の結果、病気発症率の高いのがむし歯である。

この事業を通して、子どもたちのむし歯予防に非常に高い効果があると捉えている。

**議員** フッ化物の希釈は、歯科医師会や薬剤師会が行うということだが、子どもたちへの実施・指導は、だれが行うのか。

**教育長** 学校長の責任のもと、養護教諭を中心に各担任が、それぞれ共通理解・共通指導のもとに実施するようにしている。

**議員** 現在、先生方の多忙化が大きな問題となっている。この事業を行うことが、先生方の負担とならないのか。また決められた量のフッ化物10mlを子どもたちの数だけ小分けして、うがいをさせ

るという安全管理体制に問題はないのか。

**教育長** 広渡小学校の校長の話では、先生方は、子どもたちのためなら、特に安全でむし歯が少なくなるのならやろうという先生方へのありがたさというようところで解消していると思っている。

また、安全面については、希釈されたフッ化物をどのように10mlに小分けするのかは、もう一度確認するが、10mlが11mlになっても、また方が一飲み込んで安全、という確認はできているので心配はないと考える。

**議員** 安全管理体制には、万全を尽くすべきだ。

**教育長** しつかり学校に指導する。

※この他にも

「生涯学習まちづくり実施計画」について質問しました。



## 全町民の避難箇所の確保ができるのか



公共施設だけでは確保が困難。  
高台へ避難させることが重要



おだ たかのり  
織田 隆徳



（高台の遠賀高校避難所）  
早めに高台への避難が重要

**全町民の避難所の確保ができるのか**

**議員** 国土交通省の新たな浸水想定区域では、本町の56%が浸水する。全町民の避難箇所の確保ができるのか。

**町長** 公共施設だけでは避難箇所の確保は難しい。早めに避難命令を出して、高台に避難させることが重要で、避難情報を出す時期の判断が必要になると思う。

**議員** 本町の地域防災計画の見直しが行われているが、進捗状況を問う。

**町長** 素案を11月までに完成させ、12月議会で改正素案を説明する。そして、12月下旬から来年1月にかけてパブリックコメントを実施し、2月中の完成を予定している。

**町職員の法定障害者雇用率の達成を**

**議員** 本町職員の法定障害者雇用率は達成されて

いるか。

**町長** 6月1日現在、町長部局に重度障害者1人が在籍し1・89%だ。法定雇用率2・3%を下回っている。

**議員** 障害のある人は、将来の生活安定のため働く場を強く望んでいる。町職員の採用に際しては、法定雇用率に上乗せをする方針で雇用に取り組むべきだ。

**町長** 自治体として法律に基づき、雇用の場を広げていかなくはないけなと思う。精神障害者の雇用に向けても準備中である。

**ミサイル対応の避難訓練をすべきだ**

**議員** 北朝鮮が我が国を通過するミサイル発射を繰り返している。ミサイル着弾に対応する避難訓練を防災訓練と絡めて実施すべきだ。

**町長** どういう訓練をすべきか、どれを取り入れ

ていくべきか、一つの検討課題としたい。

**議員** Jアラートの新型受信機を平成30年度までに導入するよう国は通知している。現在は20秒かかる情報処理が2秒で処理できる。本町は導入したのか。

**総務課長** 来年度の予算で要望する。

**夏休みを短縮すべきだ**

**議員** 来年度で小中学校全校にエアコンが完備される。この機会に夏休みを短縮し、授業時間にゆとりを持たせるべきだ。

**教育長** 現在、サマースクールを実施し、理解不十分な子どもへの学力向上に努めており、夏休みを短縮する考えはない。しかし、今後メリット、デメリットを十分検討したい。

※この他にも

「学校教育へのICT導入」について質問しました。

※ 一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ (<http://www.town.onaga.lg.jp/>) で公開します。



かとう よういちろう  
加藤 陽一郎



# オープンから5か月経過したピピットの利用状況は



さまざまな交流が促進され、おおむね順調ではないかと捉えている



遠賀町起業支援施設ピピット

## オープンしたピピットの利用状況は

**議員** 3月26日にオープンした起業支援施設PIPIIT（ピピット）は、

5か月経過したが、利用状況をどう考えているのか。

**町長** 現在までに行った交流会は、4回開催しており、参加者は114人、セミナーは1回開催で参加者は38人となっている。

今後も各種交流会やセミナーの定期開催に加え、ビジネスコンテスト、ハンドメイドマルシェ、アカデミーや視察などの開催を予定している。

現時点では新規起業者はまだいないが、スタート後の5か月間としては、さまざまな交流が促進され、おおむね順調ではないかと捉えている。

**議員** スモールオフィスは全3室で、満室と聞いているが、入居期間は3年、その間の新規入居希望者は断るのか、どういう対応をされるのか。

**町長** 新規入居希望者は断らざるを得ないし、現時点での増設は考えていない。

**議員** シェアオフィスは6席用意しており、そのスペースを使いたいということであれば、個別部屋ではないが使用は可能である。

**議員** セミナーや交流会は、参加者が起業に対して興味を持ったり、喚起する効果があったと考えるか。

**町長** 起業の可能性を実現するためにも、心構えや手法を学びサポートを受けるとは、非常に有意義だと捉えている。動機づけ、心構えになると思っている。

今後も起業につながる有意義なセミナーや交流会の開催を手がけていきたい。

## 駅南地区開発の進捗状況を尋ねる

**議員** 駅南地区開発の進捗状況を尋ねる。

土地区画整理準備組合の会議は、平成28年度以降何回開催されたのか、また、その内容は。

**町長** 委員会は7回開催され、業務代行の事業形態、地権者の意向調査、見学会開催に向けた検討保留地処分に向けた方針案の検討などの内容となっている。

これら委員会の検討結果をもとに、平成29年5月17日に総会が開催され、事業区域の縮小、役員の改選を行うこと、本地域の事業化に前向きであった事業者に対して、事業費の算定および検討を依頼することの3議案が承認された。

現状では平成30年の組合設立は困難ではないかと思っている。



## 防災重点ため池の指定が4か所あるが把握しているか



防災重点ため池に該当するため池はないと県でも公表している



お した やす ふみ  
尾下 康文



九州北部豪雨で決壊した朝倉市山田地区のため池

### 防災重点ため池が指定されているが

**議員** 九州北部豪雨ではため池が決壊し、下流域では人的被害や、家屋の倒壊が多く発生した。

県は、平成25、26年に県内のため池の一斉点検を行い、882か所の防災重点ため池を指定した。その中に、本町には4か所あることが判明しているが、把握しているか。

**町長** 緊急性は低いというところで、4か所あることは聞いています。本町のため池においては、決壊した場合に、人家や公共施設に影響を与える恐れがあり、災害上、対策を講じる必要があるため池を、防災重点ため池というが、これに該当するため池はないと県でも公表している。

**議員** 熊本地震では、地震直後の大雨で、土砂崩れのため家屋が倒壊し被害が拡大した。

地盤工学の観点から、文献を見ると「地震と豪雨・洪水のそれぞれを対象にするのではなく、できるだけ両者を総合的に考慮した対策が必要である」と指摘しているが、どのように考えているか。

**町長** 複合災害については、現在見直している。「遠賀町地域防災計画」の中でしっかりと議論しているが、ため池に関しては、基礎調査もならぬ根拠もなく、公表されていないことについては答弁できない。

**議員** ある地域では大雨により、公共下水道のマンホールから汚水が噴出した。

### 公共下水道の汚水噴出被害の対策は

隣接する農業用水路からは水が越水し、道路が冠水したため、汚泥は道路上に散乱した。強制的にポンプ車で汚水管の水

を破棄し、満潮時間に向けての強制排水に備えている。

位置を下げ、また、用水路の水門を開けるなどして復旧した。

**町長** この地域は、過去にも同様の事案が数回あったが、どのような対策を考えているか。

**町長** 公共下水道などのマンホールへの雨水侵入の原因は、マンホール蓋が旧式のためであり、平成26年度から、老朽化の激しい箇所から密閉式鉄蓋に順次改築している。平成30年度で本町のマンホール蓋の改築はすべて完了する。

農業用水路等の水位管理については、各地区の生産組合ならびに水利委員さんが行っている。大雨が予想される場合には、災害対策に切りかえ、水門を開放し自然流下を促し、できるだけ内

水を破棄し、満潮時間に向けての強制排水に備えている。

※ 一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ (<http://www.town.onaga.lg.jp/>) で公開します。



たしろ じゅんじ  
田代 順二



# 「地域防災計画」土砂災害 予防対策の進捗状況は



県が土砂災害の恐れがある区域を  
基礎調査し7地区を指定している



本町の土砂災害警戒区域

## 土砂災害予防対策 の進捗状況は

**議員** 地域防災計画について、土砂災害予防対策の進捗状況を尋ねる。

**町長** 危険箇所の実態を調査し、必要な指定等を行うことについて福岡県が基礎調査を実施した。

その基礎調査に基づき、7地区が指定されている。

災害防止策の実施については、ソフト面での警戒避難体制の整備に重点を置き、災害時の情報伝達手段の整備に努めている。

**議員** 7地区が指定というが、この中で緊急を要する箇所があるのか。

**町長** 土砂災害警戒区域では、土石流で4か所、うち特別警戒区域が3か所。急傾斜地崩壊区域は39か所、うち特別警戒区域が23か所ある。

**議員** 緊急な防災工事が必要な箇所はあるのか。

**建設課長** ない。

## 風水害における避難所の最大収容は

**議員** 風水害における避難所の最大収容は7113人だ。避難ビル、広域避難地を含めると何人か。

**町長** 風水害における避難所の最大収容は現在、図書館も追加し7411人だ。避難ビルが約3700人、広域避難地が約5000人以上収容できると想定し、最大収容人員は約1万6000人だ。

**議員** 全町的な避難勧告や避難指示は想定しているのか。

**町長** 土砂災害においては想定していない。

**議員** 水害の場合は。

**町長** 高台にお住いの皆様もおられるので、全町民を対象とした想定はしていないが、約1万6000人を想定している。

**議員** 避難所に収容しきれなくなった場合、県、警察および周辺自治体の協力を得て、避難者を他

地区へ移送することになっているが可能なのか。

**町長** 災害時における県内市町村間の相互応援に関する基本協定が締結されており、全市町村に応援を要請できる。避難者を移送することは可能だ。

## 全町でデマンド交通の導入を

**議員** デマンド交通は公共交通不便地域だけでなく、全町で導入すべきと考えるが。

**町長** 全町域でのデマンド交通導入ではなく、現行の遠賀川駅を中心としたコミュニティバスや路線バス、芦屋タウンバス等の公共交通ネットワークを補完するものとして必要ではないかと思う。

**議員** 今年度から調査検討、協議をするとなつているが現時点では白紙の状態か。

**町長** できるかどうかを平成32年目標で決める。まず、調査検討をしたい。

## 傍聴者から一言

9月7日の一般質問には、寿大学はじめ5人の方が傍聴に來られ、執行部と議員のやりとりを熱心な眼差しで傍聴されていました。

傍聴者の感想を紹介し  
ます。

初めて議会傍聴しました。身近なテーマで2時間過ぎるのが速かったです。

池田 喜代子さん

小学生の虫歯予防から高齢者の健康管理まで幅広く議論がされていた。

末光 寛さん



真剣に聞き入る傍聴者の方々

行政調査に來られました  
7月20日、北海道岩内町議会志政クラブの皆さんが、行政調査に來られました。

岩内町は、北海道の南西部に位置し、人口約1万3000人の町で、近くには北海道唯一の原子力発電所である泊原発電所があります。

今回の調査のテーマは、「議会改革・活性化」ということで、「議会はどうか

いう役割をもっているのか」「議員は何をしているのか」という住民の声にどう応えるかについて、活発な意見の交換が行われました。



活発な意見交換が行われました

## 第26回 全国市町村交流レガッタ大会

9月23日・24日に全国市町村交流レガッタが、秋田県由利本荘市で開催されました。

本町からは「広渡なんでんかんでん」チーム別府「町議会チーム」の3チームが参加しました。由利本荘市は、平成17年に1市7町が合併し、海（日本海）・山（鳥海山）・川（子吉川）に囲まれた秋田県の面積の10分の1を占める人口8万人のまちです。

レースの結果は、私たち「町議会チーム」は、浜松市議会、南砺市議会、由利本荘市議会という強豪に囲まれ、残念ながら予選敗退となってしまいました。

しかし応援席では他市町村チームの皆さんと和やかな雰囲気のもと、たくさんさんの交流も図ることができました。



本町のブランド品をアピール

また、開会式後のレセプションでは、本町の選手全員が舞台上上がり、「夢れんげ」「菜種油」「そドリンク」をアピールし、会場内の大拍手をいただきました。

ところで、帰路では、秋田空港で航空機の点検が大幅に遅れ、出発が1時間以上遅れるというアクシデントに見舞われました。そのため、羽田空港では、福岡便に乗り継ぐことができず、やむなく東京に1泊という貴重な経験もしました。

### 遠賀議会だより

発行責任者 議長 古野 修

議会広報 常任委員会

委員長 仲摩 靖浩

副委員長 萩尾 修身

委員 尾下 康文  
田代 順二  
濱田 竜一  
萩本 悦子

お気軽に傍聴にお越しください。

お気軽に傍聴にお越しください。

12月です

次回の定例会は

詳しい日程は、11月下旬に遠賀町ホームページ (<http://www.town.onaga.lg.jp/>) でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。  
遠賀町役場・遠賀町中央公民館・ふれあいの里センター・駅前サービスセンター  
※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。

**あ と が き**

7月に起きた九州北部豪雨災害では、河川の氾濫や土砂災害などにより、生活道路の崩壊で通行止めが起き、多くの集落の孤立、また多数の死者・行方不明者を出す甚大な被害が出ました。

決算特別委員会の中では、備蓄品確保や防災に関する多くの意見もあり、また「遠賀町地域防災計画」の見直しも予定されています。

様々な対策が検討されています。

しかし、このような災害が起きてしまった場合には復興に向け、お互い助け合いの気持ちも必要になってくると思います。本町議会でも各議員より義援金を集め被災地に送りました。

災害に強いコミュニティ社会づくりが大切になってくるのだと思います。

濱田 竜一